

# ニチレイフーズ エクアドルの持続的発展を支援

## 同社初となる海外継続支援の寄付活動通じて



本商品の売上1袋につき1円を  
エクアドルの持続的発展のため  
現地NPO法人へ寄付します。

ニチレイフーズは、エクアドル産冷凍ブロッコリーのパッケージである Provefruit S.A.（本社：エクアドル、以下「プロベフルーツ」）を通じて、現地 NPO 法人の実施する地域支援活動に対する継続的な寄付を開始する。海外地域への継続した寄付活動は、ニチレイフーズ初の試み。

同社は、プロベフルーツと 2000 年から取引を行っており、家庭用冷凍ブロッコリー『そのまま使える 高原育ちのブロッコリー』は、カテゴリ売上 No.1 を誇るベストセラー商品へと成長した。

このたび、エクアドル産冷凍ブロッコリーの持続的な調達と地域社会貢献のため、『そのまま使える 高原育ちのブロッコリー』の売上1袋につき1円を、プロベフルーツを通じて、現地 NPO 法人に寄付する。

なお、この取り組みは、エクアドル大使館の後援を受けており、今後も継続を予定している。

ニチレイグループでは、長期経営目標「2030 年の姿」実現に向けた 5 つのグループ重要事項（マテリアリティ）のひとつに「持続可能な食の調達と循環型社会の実現」を掲げている。ニチレイフーズではこれまでも、プロベフルーツに対して、マニュアル作成、衛生検査方法、ライン洗浄方法、異物混入防止などについて、生産指導・改善支援を継続実施してきた。その結果、自然解凍で喫食できる「無加熱摂取」の冷凍ブロッコリーを生産できるまでの高い衛生基準を満たすようになった。

このたび、プロベフルーツおよび地域社会への支援の新しいあり方として、同社が加盟する現地 NPO 法人「REDES con ROSTRO OSTRO」の支援活動プログラム「Together for Life」に対して寄付を行う。

この取り組みを継続することで、現地生活者の QOL（生活の質）向上に貢献し、エクアドルの持続的発展を支援する。さらには農業従事人口を確保し、また、かねてからプロベフルーツへ実施している生産指導・改善支援による生産加工技術の向上を通じて、高品質なエクアドル産冷凍農産加工品の安定供給を目指す。

「Together for Life」について  
プロベフルーツはこれまで、医師が常駐する社内診療所を設置したり、工場敷地内に食料品店を開設したりするなど、従業員向けの福利厚生を充実する活動を行ってきた。くわえて、2017 年から「企業と住民とのつながりによる地域の成長」をモットーに、同社を含む複数企業が資金提供する現地 NPO 法人と、工場近郊にある貧困地域への

支援活動プログラム「Together for Life」を実施している。

同プログラムでは主に、「食生活改善」（食料・調理器具の無償提供や栄養摂取を目的とした勉強会の実施等）と、「医療支援」（医師団の派遣、乳幼児用栄養食の無償提供、定期訪問と経過観察等）に取り組んでいる。



選ばれて売上No.1



※写真はイメージです  
※インテージSRI+冷凍調理からあげ市場  
(2018年3月～2022年9月)累計販売金額

株式会社ニチレイフーズ 特から 検索

お買い求めは冷凍食品売り場で